



日本学校心理士会 2021 年度大会のご案内

大会テーマ

『コロナ禍の中での学校心理士の役割』

期 日：2021 年 10 月 30 日(土)～11 月 7 日(日)の 9 日間

開催方式：オンデマンド（一部オンライン）

主催：日本学校心理士会

後援（一部申請中）：文部科学省、全国連合小学校長会、全日本中学校長会、全国特別支援学校長会、全国高等学校長協会、全国国公立幼稚園・子ども園長会、公益社団法人日本教育会、一般社団法人学校心理士認定運営機構、一般社団法人日本特殊教育学会、日本発達障害学会、一般社団法人日本発達心理学会、一般社団法人日本 LD 学会、日本学校心理学会、日本応用教育心理学会、日本生徒指導学会、日本学校カウンセリング学会、日本コミュニケーション障害学会、日本学校メンタルヘルス学会、日本学校教育相談学会、一般社団法人 日本心理学諸学会連合、一般社団法人 日本心理臨床学会、一般社団法人日本公認心理師協会、一般社団法人日本スクールカウンセリング推進協議会、日本キャリア教育学会、NPO 法人日本教育カウンセラー協会、日本教育カウンセリング学会、一般社団法人日本カウンセリング学会、一般社団法人臨床発達心理士認定運営機構

2021 年度学校心理士会大会のご案内

はじめに、この度の新型コロナウイルス感染症により亡くなられた方へのご冥福を心よりお祈り申し上げます。また、罹患された方々、並びにご家族、関係者の皆様に謹んでお見舞い申し上げます。そして、日夜、感染防止と治療に当たられていらっしゃる医療機関、行政機関の方々にも深く感謝申し上げます。さらに、本会会員の皆様におかれましては、感染症対策などで大変な状況の中で活動している方もいると思います。是非ご自愛くださいますようお願いいたします。

さて、2020 年大会は、新型コロナウイルス感染症の拡大を受け、残念ながら中止という判断を余儀なくされました。今年度の大会も、どこかの地域にあつまり、対面で実施できないものかと検討を重ねてまいりましたが、感染状況が治まる気配が見えず、今後の予想もつかないことから、「2021 学校心理士大会」はオンデマンド方式での開催とさせていただき、準備を進めることとなりました。しかし、学校心理士会としてははじめての試みで、実施が可能かどうかの判断、及び準備委員会をどのように組織するかなど、課題を整理することなどに時間を要し、皆様への連絡が遅くなりましたことをお詫び申し上げます。

2021 大会のテーマは、「コロナ禍の中での学校心理士の役割」としました。今回のパンデミックはまだ終息していません。もし終息したとしても、またいつかこのような状況が起こるかわかりません。昨今は、わが国だけでなく、世界各国でも地震や集中豪雨などの自然災害に見舞われています。新型コロナウイルス感染症対策に限らず、安心・安全な生活を基本に、子どもたち一人一人が健康で充実した学校生活を送れるよう、私たち学校心理士はそれぞれの立場で支援を継続していかなければなりません。そのために、本大会が皆様の実践に少しでも参考になれば幸いです。

最後になりますが、講師を務めていただく方々、また大会の開催に向けて準備を進めていただいている皆様に心からお礼を申し上げますとともに、ぜひ多くの会員の皆様の参加を得て、今大会を成功させたいと強く願っています。

日本学校心理士会 2021 年度大会 大会準備委員会
委員長 山谷 敬三郎（日本学校心理士会会長）

1. プログラム

※時間は変更の可能性あり

10月30日(土)	
午 前	
9:30~10:00 ライブ	開会行事(開会挨拶, 学校心理士賞受賞式)
10:00~10:50 ライブ	基調講演 ※理事長講演 <講師> 石隈利紀(日本学校心理士会理事長) <演題> 「チーム学校の充実による新しい心理教育的援助サービス」
	※文部科学省講演 <講師> 鈴木慰人(文部科学省初等中等教育局児童生徒課生徒指導室長) <演題> 「生徒指導の今と未来」
10:00~12:00 ライブ	※文部科学省講演 <講師> 鈴木慰人(文部科学省初等中等教育局児童生徒課生徒指導室長) <演題> 「生徒指導の今と未来」
午 後	
13:00~14:00 ライブ	総 会
14:20~15:10 ライブ	学校心理士養成大学院教員連絡協議会

※をすべて受講で
A:1ポイント

※システム管理のため 10月28日(木)から研修講座へのアクセスが可能です。
ぜひ事前にアクセスし、ネット環境をお試し下さい。

10月30日(土) ~ 11月7日(日)	
10月30日 14:20~ オンデマンド ※期間中いつでも 何度でも視聴可能	研修講座①~⑧ 《A:1ポイント》 研修講座の概要についてはHPをご覧ください ① 本田 真大(北海道教育大学) 「相談できない心理(援助要請)とスクールカウンセリング」 ② 深谷 達史(広島大学大学院) 「主体的で深い学びを促す学習支援の心理学」 ③ 菊池 春樹(東京成徳大学) 「学校で生じる「性」に関する問題に私たちは何ができるのか?」 ④ 大六 一志(公認心理師) 「WISC-IV検査結果と発達支援実践の橋渡し —つまずきの原因の理解と対応の提案—」 ⑤ 下山 真衣(信州大学) 「自閉スペクトラム症の子どもたちと二次障害 と予防的・発展的支援のあり方」 ⑥ 児玉真樹子(広島大学大学院) 「現代社会で求められるキャリア形成とは」 ⑦ 小林 朋子(静岡大学) 「学校危機における対応と予防について」 ⑧ 田山 正伸(田山チャイルドクリニック院長・徳島大学) 「医療と教育との連携 —学校医を含む医師と学校とのより良い関係—」
	SV研修①② 《A:1ポイントとして代用可》 SV研修① SV研修Ⅱ 水野 治久(大阪教育大学) 「チーム学校時代の学校カウンセリング・コンサルテーション —子ども, 教員の援助要請からのアプローチ—」 SV研修② SV研修Ⅲ 池田 誠喜(鳴門教育大学教職大学院) 「レジリエンスの考え方の活用」
	准士研修: 准学校心理士のみを対象《A:1ポイント》(学校心理士・SVの方はポイント申請不可) 小澤 郁美(富山大学) 「ワーキングメモリと学習や生活との関連 —ケースレポート執筆のポイントを踏まえて—」
	ポスター発表 《筆頭発表者 F: 3ポイント 連名発表者 H: 1ポイント》 ※質問受付期間 10月30日(土)~10月31日(日) ※回答期間 11月1日(月)~11月7日(日)(10/30から回答することも可)

2. 資格更新ポイントについて

本大会における最大取得ポイントは「上限を8ポイント」とします。
ただし、ポスター筆頭発表者は上限10ポイントまで可能です。

例) 基調講演(A)1P+研修講座(A)1P×6+大会参加(I)1P **計8P**

例) ポスター筆頭発表者の場合

基調講演(A)1P+研修講座(A)1P×6+ポスター発表(F)3P **計10P**

(1)大会への参加によってI(1ポイント)が付与されます。ただし、F、Hポイントを取得した場合、Iポイントは認められません。

(2)F、G、H、Iポイントのうち、認められるのはどれか1つのみとなります。

(3)「基調講演」は、「文部科学省講演」と「理事長講演」の両方の参加でA(1ポイント)です。

※基調講演は11月1日以降～11月7日までオンデマンドで見逃し配信も可能にする予定ですが、ポイント取得は10月30日(土) 10:00～10:50のライブ講演を視聴した方のみ対象となりますのでご注意ください。

(4)「ポスター発表」は、筆頭発表者がF(3ポイント)、連名発表者がH(1ポイント)です。

ただし、連名発表者として複数の発表に参加してもHは1ポイントのみです。なお、「ポスター発表」に視聴者として参加していただくことへのポイントの付与はありません。

(5)「研修講座①～⑧」への参加は、各A(1ポイント)です。

(6)「准士研修」への参加は、A(1ポイント)です。ただし、准学校心理士のみを対象とした研修講座で、学校心理士・学校心理士スーパーバイザーの方が参加してもポイントは取得できません。

(7)「SV研修①②」は、学校心理士スーパーバイザー有資格者を対象とした研修講座で、学校心理士ならびに准学校心理士の方は参加することはできません。研修領域については研修一覧をご覧ください。

3. 受講方法について

研修講座①～⑧ならびに准士研修(准学校心理士対象)は、すべての方が視聴することが可能です。ただし、SV研修①②は学校心理士スーパーバイザーの方のみ視聴可能です。

また、研修講座での取得可能ポイントは最大で6ポイントまでとさせていただきます。ポイント申請する場合は事前の申請が必要となります。これまでの士会大会、ならびに今後の士会大会のポイント取得数を勘案し上限を設定します。参加者別に研修講座での取得ポイントは下記のようになります。

(1)学校心理士会員・ガイダンスカウンセラーは、研修講座①～⑧の中からご希望の研修講座を選んでください。申請可能なポイントの上限は「6ポイント」までとなります。

(2)准学校心理士は、准士研修ならびに研修講座①～⑧の中からご希望の研修講座を選んでください。申請可能なポイントの上限は「6ポイント」までとなります。

(3)学校心理士スーパーバイザーは、SV研修①②ならびに研修講座①～⑧の中からご希望の研修講座を選

んでください。申請可能なポイントの上限は「6ポイント」までとなります。

(例：SV 研修①②でポイント申請した場合、研修講座①～⑧では4ポイントが申請可能となります。)

4. 事前参加申込について

大会ホームページにアクセスしていただき、『事前参加申込』より必要事項を入力してください。

入力完了後、登録された E-mail アドレスに確認メールが配信されます。ご登録いただいた後、諸費用を払い込みください。事前に参加申込いただいた方のみ視聴可能です(当日参加受付はありません)。

○ 大会参加申込期間 7月19日(月)～9月30日(木)

○ 大会ホームページ <http://conference.wdc-jp.com/gakkoushinrishi/2021/>

(1) 参加登録の流れ

①アクセスされた方は「ログイン ID を取得」をクリックしてください。

②各情報を入力いただくとご登録いただいたメールアドレス宛にログイン ID 発行通知が配信されます。

③発行通知に記載されたログイン ID を用いてシステムにログインしてください。

④システム上では参加登録・発表申込が可能です

参加登録に関する各種締切は下記の通りとなります。

【各種締切】

○ 郵便振替申込締切 (以降クレジット決済のみ) 9月27日(月)

○ 参加申込締切/発表論文集事前発送締切 9月30日(木)

(2) 大会参加登録の流れ

上記「事前参加・発表申込」より参加を希望する研修を最大6つまで選択してください。本大会では、研修講座によるポイント(A)は最大6ポイントまで取得が可能です。

(3) ポスター発表申し込みおよび論文投稿について

上記「事前参加・発表申込」より発表要旨の登録および論文の投稿をいただけます。

なお、ポスター発表申込が完了後に発表スライド PDF (A4 サイズ) の投稿が可能になります。

○ ポスター発表申込および原稿提出締切 8月10日(火)

○ 申込および原稿提出先 <http://conference.wdc-jp.com/gakkoushinrishi/2021/>

(4) 受講証の発行について

後日、公開のプラットフォームサイト上にて発行可能となります。受講証の氏名は参加登録時の情報が掲載されますのでご注意ください。詳細は、今後の HP 更新にてご連絡させていただきます。

(5) 合理的配慮(アクセシビリティ関連)について

研修講座①～⑧については、字幕挿入を現在検討中です。詳しくは、大会ホームページに掲載いたしますのでご参照ください。

5. 諸費用払込み方法について

諸費用の払い込みは、クレジットカード決済と郵便振替をご用意しています。それぞれ「事前参加・発表システム」よりお申し込みください。なお、郵便振替を選択された方はご登録いただいたメールアドレス宛に、振込先情報の掲載された完了通知が配信されます。

記載内容をご確認いただきお振込みをいただきますようお願い申し上げます。郵便振替に伴う手数料については各自ご負担でお願いします。

【大会参加費】

種 別	金 額
学校心理士会員（学校心理士スーパーバイザー含む）	7,000 円
准学校心理士の資格を有している方	3,000 円
ガイダンスカウンセラー	7,000 円

※ 非会員の方は参加できません。

※ 非会員でポスター連名者の方の参加費は発生いたしません。

6. ポスター発表要項について（※発表者への案内となります）

(1) 発表の方法

ポスター発表については、質疑応答システムにより下記の「質問受付期間」と「回答期間」を設けております。発表者の皆様には参加者からの質問があった場合は、期間内にご回答をお願いします。

質疑応答システムについては大会ホームページをご参照ください。

○質問受付期間 10月30日（土）～ 10月31日（日）

○回 答 期 間 11月1日（月）～ 11月7日（日）（10/30から回答することも可）

(2) 発表の要件

本大会はオンデマンド開催となるため、発表原稿投稿と質疑応答を行うことで発表が認定されます。

(3) 発表資格

筆頭発表者は、日本学校心理士会の正会員でなければなりません。また筆頭発表者は、発表申込、大会参加費、発表論文集原稿に関わるすべての手続きを、所定の期日までに行っていなければなりません。非会員の方は参加できません。また非会員でポスター連名者の方の参加費は発生いたしません。

(4) 論文原稿作成要領

ポスター発表用の論文のフォーマットは「各種ダウンロード」のページからダウンロードできます。

原則として、研究の目的、方法、結果、考察などの項目に分けて記述してください。なお、事例発表には、個人情報保護・プライバシーへの配慮をお願いいたします。発表1件あたり、発表論文集の見開き2ページを充てます。作成していただく原稿は、A4判、横書き、2段組とし、1ページ目に題目、発表者氏

名、所属機関名を記載し、2 ページ目は論文のみとしてください(レイアウト図を参照)。なお、実際の論文集の大きさは A4 判になります。

発表者は、「日本学校心理士会大会発表倫理規定」を遵守して、原稿の作成・発表を行ってください。

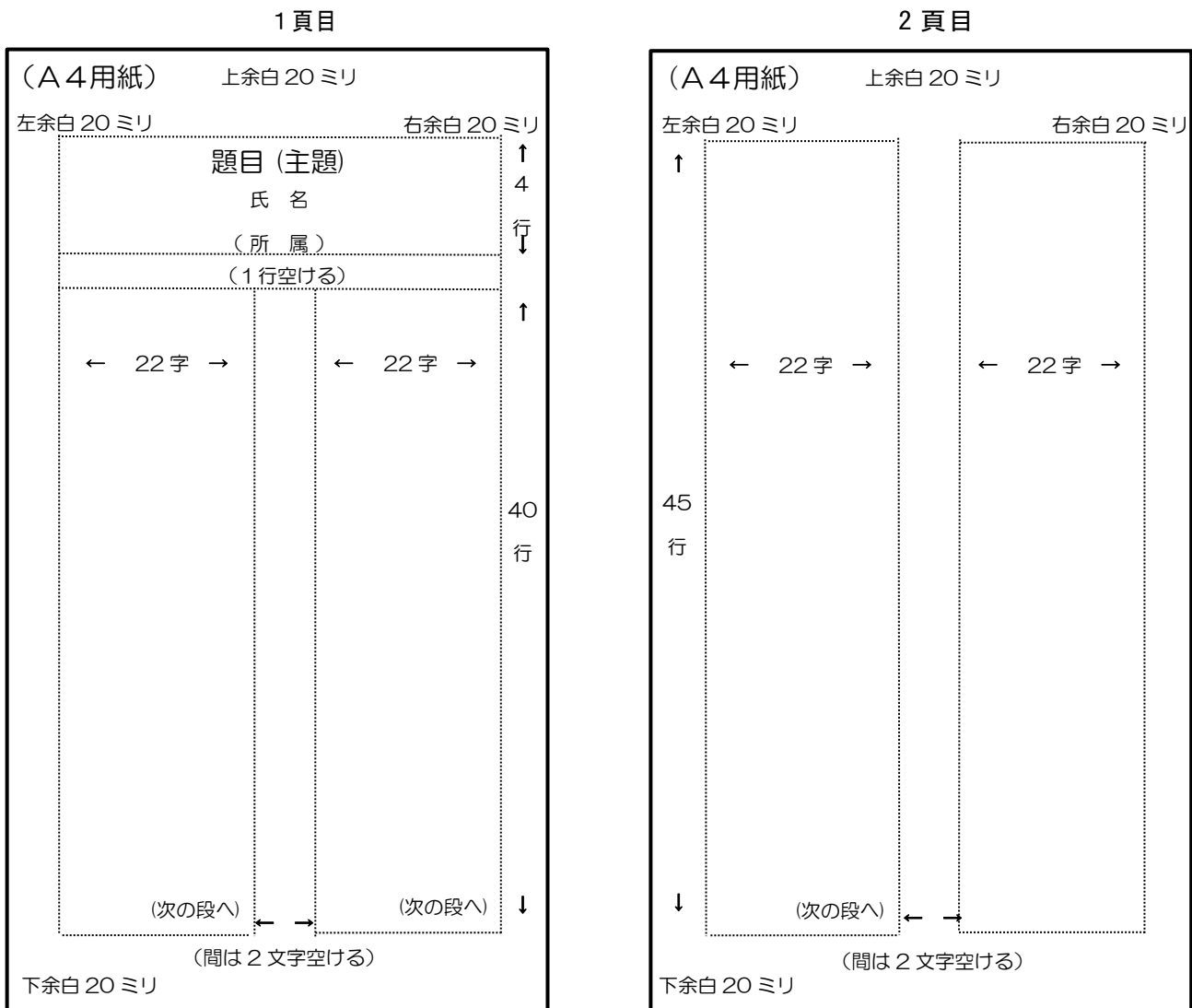
① 題目・氏名・所属・本文の記入方法(レイアウト図参照)

- (a) 「題目」は、4 倍角(普通の文字 [全角] の 2×2 字分)程度の大きさに、上から第 1 行目と第 2 行目に記述する。
- (b) 「氏名」は、第 3 行目に記述する。また、連名の場合には筆頭発表者の氏名の前に○を付ける。
(連名の場合で名前の前に○がない場合は、最初の方を責任発表者とします。)
- (c) 「所属」は、第 4 行目に氏名の下にカッコでくくって記述する。
- (d) 「本文」は、「所属」の行から 1 行空けたところ(第 6 行目)から書き始める。
- (e) 会員外の連名発表者については、氏名の後に # 印を付ける。

② 図と表の記入法

印刷して仕上がったときの縦横の縮小率は、原稿を 1 とすると約 0.9 です。図や表の記載量についての制限はありませんが、すべてが印字の枠の中に収まるようにしてください。写真は図として扱います。原稿をアップロードすることを考慮して、容量が大きくなるようにしてください。

〔レイアウト図(A4 判縦置き)〕



【注】上図に示した行数および1行の文字数は、おおよその目安とお考えください。

ただし、指定の行数±3行、指定の文字数±3字の範囲内でお書きください。

(5) 論文原稿およびポスターの送付について

プラットフォームサイト公開用にスライドPDF原稿を20枚以内で作成、提出していただきます。各登録は「事前参加・発表申込」よりご登録が可能です。ポスター発表に関する各種締切は下記の通りとなります。ポスターはPDF原稿のみとし、MP4などの動画による発表は受け付けません。

【各種締切】

- 発表申込・原稿投稿締切 8月10日(火)
- スライドPDF投稿締切 10月20日(水)

日本学校心理士会大会発表倫理規定

1. 人権の尊重

- 発表者は、調査や面接などに先立ち研究協力者からインフォームド・コンセントを書面で得なければならない。
- 発表者は、調査や面接などでデセプション(虚偽)の方法を用いる場合、それが研究協力者に負の影響を与えないことを確認した後、研究を実施し、調査や面接の終了後にデセプションを用いた理由を説明しなければならない。

2. 個人情報の秘密保護の厳守

- 発表者は、得られた研究協力者の個人的な資料を厳重に保管し、秘密の保護に責任をもつ。同意を得た本来の目的以外には使用してはならない。

3. 発表に伴う責任

- 発表者は、発表のもたらす人道的・社会的意義に十分に配慮し、専門家としての責任を十分自覚して発表しなければならない。
- 発表者は、プライバシーに関する責任をもつ。個人のプライバシーを侵害してはならない。
- 発表者は、共同研究者の権利に配慮して連名の承諾を得なければならない。すべての共同研究者は、研究に積極的にかかわり、そのもたらす結果について共同の責任をもつ。
- 発表者は、研究のために用いた資料等について、著作権に配慮し出典を明記する。また、差別的な用語や不適切な表現のないように留意しなければならない。

4. 研鑽の義務と倫理の遵守

- 発表者は、本倫理規定を十分に理解し、遵守するための研鑽の機会をもつように努めなければならない。また、すべての発表者は、学校心理学の研究および実践活動において、本倫理規定を十分に理解し、遵守する。

【参加・発表申込に関するお問い合わせ】

日本学校心理士会 2021年度大会ヘルプデスク

〒162-0801 東京都新宿区山吹町 358-5 アカデミーセンター

E-mail: gakkoushinrishi-desk@ (bunken.co.jp を付けてください)

【学校心理士資格更新、ポイントに関する問い合わせ先】

一般社団法人 学校心理士認定運営機構

〒113-0033 東京都文京区本郷 2-32-1 BLISS 本郷ビル 3F

TEL: 03-3818-1554 FAX: 03-3818-1588 ※質問はメールでも受付けています。

E-mail: office@gakkoushinrishi.jp ※Emailを送る際は◎を@に変更して下さい。

